

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 名張市立南中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒518-0421

三重県名張市つつじが丘南1番町241番地

E-mail g01_j-minami@nabari-mie.ed.jp

Website http://www.nabari-mie.ed.jp/j-minami/

幼児児童生徒数 男子 149名 女子 156名 合計 305名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「夢の実現に向けて自ら考え主体的に行動する生徒」をめざす生徒像として、ESDの実践を通して主体性及びコミュニケーション力の育成を目標とした。

具体的には、国際理解・文化多様性、防災、地域貢献を柱に、①国際交流イベントに係わる活動、②総合防災訓練に係わる活動、③つつじっ子会議に係わる活動を行った。

① 国際交流イベントに係わる活動

「名張や日本の文化等について、英語で説明することにより、英語の表現力を高める。」「小学生と中学生がともにプレゼンテーションに取り組み、他の人に伝えるための工夫をする中で、創造性や協調性を養う。」「多様な国籍や、文化を持つ人々と交流することで、異文化理解を深め、コミュニケーション力を高める。」ことを目的に、名張市近隣在住の外国人、ALT、留学生、地域の方々等に対し、小学生、中学生合同で30グループを作り、グループごとのテーマについて、英語の紹介やクイズを行った。

② 総合防災訓練に関わる活動

南中学校区の各地区において、小学生と中学生、地域住民の合同の防災訓練を行った。名張市総合防災訓練に合わせ校内での避難訓練を行った後、各地区HRごとに、一次避難所に移動し、各地区ごとの防災活動に参加した。炊き出し訓練やテントの設営など地域の方々と一緒に中学生も活動することができた。また、防災すごろくなどを体験した地区もあった。地域の大人の方々と共に協力し一緒に活動することができた。

③ つつじっ子会議に関わる活動

「つつじが丘・春日丘の地域をふるさととして誇りを持ち、魅力のある地域としたい」ということを趣旨に学校運営協議会委員や地域の方々と不定期に水曜日のお昼休み意見交流を行っている。その取組の一つとして市民センターに年配の方だけでなく若い世代の人々も行けるような手立てを考えている。現在は、食育コンクールに出品した小学校6年生と中学校1年生のメニューを展示し、多くの方々に見てもらいアンケート等も実施した上で、地域の方々を対象とした料理のデモンストレーションを生徒が行うという取組を計画中である。



①国際交流イベント



②総合防災訓練



③つつじっ子会議

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(地域貢献)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

NEW HORIZON English Course 3 (東京書籍)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校の活動については、校区小学校及び地域との関わりが深く、校区小学校や地域との連携の中で取組を進めている。そのため、学校の年間計画に活動を位置づけて活動している。校区小学校も同様であり、また地域の計画にも位置づけられている。

指導計画等は前年度の取組の反省を踏まえ、児童生徒、小中学校教員、小中学校保護者、地域関係者等の意見も加え、検証を重ねながら指導内容や指導方法についての工夫改善に取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校では、小中一貫教育及びコミュニティ・スクールの研究実践に取り組んでいる。そのため、学校組織と学校運営協議会組織及びPTA組織と整合させている。

学校内だけでなく、学校運営協議会をはじめとする地域自治会や関係団体、及び保護者との連携協力体制を整え、組織的かつ継続的な取組ができるような組織体制を作っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

年間2回の学校評価（前期及び後期）アンケートを保護者生徒に実施、職員の自己評価を各学期ごとに実施している。その結果をもとに年度末に学校運営協議会において学校評価を実施している。

成果としては、取組を進めるごとに地域との関係が深まっていることがあげられる。課題としては、実施の目的でもあるコミュニケーション力のさらなる向上があげられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

活動の成果を学校だよりや学年通信等で、保護者及び地域へ発信している。また、教育フォーラム等での実践報告を行っている。

保護者及び地域からは、学校の取組内容がよく分かるということで、開かれた学校づくりに役立っている。また、教育フォーラム等での発信により、市内の学校や校区外の保護者等に取組の様子が周知され、活動の広がりが期待できる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

地域自治会や関係諸団体との連携協力により、取組を進めている。毎月地域自治会の子ども育成部会に参加し情報交流を行っている。また、活動の内容ごとに各理事との打ち合わせを行い、地域と学校の方向性を合わせながら取組を進めている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流としては、本年度、三重大学ユネスコスクール研修会に参加予定である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

地域との協力連携による取組により、学校への理解が深まり、様々な面での協力が得られた。人的な協力だけでなく、金銭的な支援も大きく、様々な活動を実践していく中で大きな支援をしていただいた。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度の取組を継続していく予定である。

①国際交流イベントの実施

9月第3土曜日に実施予定。〈平成30年9月15日〉

②地域との連携による総合防災訓練の実施

11月第3土曜日に実施予定。〈平成30年11月17日〉

③つつじっ子会議の推進

定期的な開催とつつじが丘小学校も含めた取組を進める。

④Skype を利用したオーストラリアの中学生との交流

2年生（1学期）、1年生（3学期）に実施予定。

⑤校内ヒューマンライツの充実

校内で、人権に関わる内容を話し合う活動。学期末に全校生徒に発信したり、名張市の集まりに参加する。